

農経新聞

株式会社 農経新聞社
 東京都品川区西五反田
 1-27-6 市原ビル9F
 (郵便番号 141-0031)
 電話 東京 (03)3491-0360
 FAX (03)3491-0526
 ホームページ
<http://www.nokei.jp>
 郵便振替 00180-8-156982

国産野菜の業務対応促進

第4回 倉敷青果荷受グループに大臣賞

農水省および農畜産業振興機構主催による第4回「国産野菜の生産・利用拡大優良事業者表彰」の受賞者が決定した。これは、加工・業務用需要に対応した国産野菜の生産・利用拡大に取り組み、優良なグループ(生産者、流通関係者、実需者)を表彰するもの。農水大臣賞には倉敷青果荷受組合(富本尚作理事長、岡山県倉敷市)などが構成される「国産玉葱生産・利用拡大グループ」が輝いた。倉敷青果荷受組合は第2回に続き、2回目の農水大臣賞受賞となる。

「国産玉葱生産・利用拡大グループ」の構成メンバーは、生産者はJA倉敷かさや等岡管農センター(岡山県)、真備根菜類生産者組合(岡山県)、因島玉葱生産者組合(広島県)、いいた農園(長崎県)。流通業者は倉敷青果荷受組合(蔬菜部、実

需者は倉敷青果荷受組合(蔬菜部)。

カッタ野菜部では元々中国産むぎとマネギを使用していたが、昨年の「国産原材料サプライチェーン構築事業」によりむぎとマネギを導

給を可能とし、年間使用量360トをすべて国産に切り替えた。また、GAPおよびISO22000認証による一貫した品質管理とトレーサビリティを導入している。

さらに、機械皮むぎが可能なMサイズ以上を一括して規格とし、産地の選別

労力を軽減。通い容器やフレコンバッグに対応した施設の整備により、流通コストを削減したことも評価された。

そのほかの受賞者は次のとおり。「内は受賞ポイント、①生産者②流通業者③実需者(①と③だけのグループもあり)。

【生産局長賞】

▽JA東神楽加工・業務用野菜サプライチェーングループ「消費者ニーズや需要量に基づく計画的な安定供給の取組」(アスパラガス、カボチャの冷凍加工)

①東神楽蔬菜研究会(北海道) ②東神楽農業協同組合(北海道) ③イズックス株式会社(東京都)

▽静か組合三味餃子キヤベックグループ「トレーサビリティとコールドチェーンに対応したコンテナ出荷体制の確立」①油屋(茨城県) ②農業生産法人サンポーフアーム(千葉県) ③三味ヤオコーデリカセンター(埼玉県)

▽JA全農いばらき・カゴメ「生産者と実需者が連携し、加工用トマトの新規産地を開拓」①JA全農いばらき②カゴメ調達部原料グループ(栃木県)

▽ふじ有機にんじん・こぼろグループ「周辺農家とのネットワーク形成により、実需者の要望に応じて供給を拡大」

①農業生産法人ふじ有機(鹿児島県) ③米川商事(茨城県)

▽JAおきなわ・エスビー食品フレッシュユアハーブ契約栽培グループ「実需者からの働きかけによる、契約栽培への転換」①JAおきなわ②エスビー食品(東京都)

▽株式会社モンテローザ・ヤマタイ食品株式会社・茨城中央園芸農業協同組合グループ「低コスト化による、輸入野菜から国産への切替え」①茨城中央園芸

【農畜産業振興機構理事長賞】

▽アグリ園ミヤウチグループ「地元の実需者と実需者が連携し、低コスト・省力化の取組を推進」①アグリ園ミヤウチグループ(宮城県) ②グリーンライ(宮城県)

▽国産青果物需給拡大推進協議会

「複数産地、複数産品の産地リレーによる安定供給体制を構築」①農業生産法人アクト農場(茨城県)、イーエムジャパン(神奈川県)、農事組合法人耕人会(群馬県)、いばらき農流研(茨城県)、北庄フェーバー(福島県)、和郷(千葉県)、農事組合法人やまだアクリサービス(秋田県)

③東京デリカフーズ(東京都)

▽株式会社モンテローザ・ヤマタイ食品株式会社・茨城中央園芸農業協同組合グループ「低コスト化による、輸入野菜から国産への切替え」①茨城中央園芸

農業協同組合(茨城県) ②ヤマタイ食品(東京都) ③モンテローザ(東京都)

▽東四国契約野菜安定取引協議会

「生産者・流通関係者・実需者が連携し、低コスト供給体制を確立」①板野郡農業協同組合加工用キャベツ部会(徳島県) ②観音寺地方卸売市場(香川県) ③細川食品(香川県)

▽九州加工用国産野菜推進グループ「生産者・実需者が連携し、ニーズに即した原料生産、新製品を開発」①坂口農産生産者Bグループ(宮崎県) ③九州新進(鹿児島県)

農業協同組合(茨城県) ②ヤマタイ食品(東京都) ③モンテローザ(東京都)